

清水 辰次郎 (阪大)

1. 紙上談話會が毎週發行トナツテキルコトハ如何ニソノ活動カ盛
 ンダカヲ語ルモ「テ」甚ダ愉快ト事ト思フ。然シ同一方面ノ研究者ノ數カ
 少イカラデモアルガ、談話會上ノ問題ニツイテ議論百出ノ状ヲ呈スルコト
 が極メテ少イハ遺憾デアル。筆書ハソノ意味デ「自分」ヤツテキル事ヲ書
 キタクハアルガ、後ニユツツテ、先ツ「最モ普遍的」ノ話題ヲ呈出スルツモリナ
 1デアル。

2. 複素變數函數論ノ基礎的ノ部分ハ兎角疎カニサレ勝トモト
 見エテソレノ部分ガ書物ニ書イテアルヲ見ルト一寸シタ事トカラ「ドウモ
 満足」イカナイモ「ガ」多イ。或領域或テ「正規」ノ函數 $f(z)$ がソノ内部ノ
 一處ニ $f'(z) \neq 0$ ナラバ z ヲ通ル曲線ハ $f(z) = \text{const}$ 等角ニ寫像
 セラレルト云フ定理ハ何レノ書物ニモ載ツテキルシ、ソノ證明モ大体苦
 情ハ云ハレナイ。然シ「ガ」ラ、ソノ逆ニ「アタル」 $f(z) = \text{const}$ 等角ニ寫像
 ナラバ $f(z)$ ハ正則「タ」ト云フ定理ニ「アル」ト大抵ノ本ハ「アマリ」嚴密デ「ナイ」様ニ
 思ハレル。ソレ「ハ」ドウシタラ良イカト云フト、眞ノ名案ハ「ナイ」「タ」ガ、次ノ
 様ニ「ヤツ」タラ「ドウ」カト思フ。尤モコレハ「早急」ノ間、出來事「タ」カラ、遙カニ、
 モ「ット」好イ考ヘヲ「オ」持「チ」ノ方ガ「アル」「タ」ロウト思ツテ「實」ハ「ソレ」ガ「何」ル「タ」クテ、コレ
 ヲ書イテキル「次第」デアル。尤モ上記ノ「逆」ニ「アタル」定理ハ「純理論」的カ、
 或ハ「極初等」的ニ「カシカ」ノ他ニ「ハ」アマリ「役」ニ「立」タ「ナイ」モ「テ」近「ク」頁ノ書物ニ
 ハ「書」イテ「ナイ」モ「ガ」多イ。然シ「ト」モ角モ「基礎」的ノ部分ニ「ハ」ナ「カ」ヒ「ナイ」。
 以下ノ話ハ「暑」カノ折「不」兩當教室吉田耕作君、角谷靜夫君達ト「馬」
 辯リ「ナ」ガラ書イタモノ「テ」人ノ「智慧」ガ「交」ツテキル。然シ「反」ツテ山ヘ「登」ツテ
 キルカモ「知」レ「ナイ」。

何ハ角モ角 等角寫像ト云フ定義カラ始メネバナレマイ。

9.

一莫 Z_0 = テ相交ルニツノ 二切糸線ヲモツ長リアル 單一連續糸線

$$C_1: Z_1(\lambda) = x_1(\lambda) + iy_1(\lambda), \quad Z_1(0) = Z_2(0) = Z_0$$

$$C_2: Z_2(\lambda) = x_2(\lambda) + iy_2(\lambda), \quad 0 \leq \lambda \leq 1$$

(λ ハ Z_0 ヨリ測リツツ 曲線 C ノ長サ)

ヲ考ヘ、一價函数 $w = f(z) = \text{ヨルノレヲノ字像}$ 即チ

$$C'_1: w_1(\lambda) = f(z_1(\lambda))$$

$$C'_2: w_2(\lambda) = f(z_2(\lambda)) \quad , \quad 0 \leq \lambda \leq 1, \quad f(z_0) = w_0$$

ガ切糸線ヲモツ單一連續曲線ナリト 假定スルトキ、 C'_1, C'_2 ノ w_0 ニテナス角ト C_1, C_2 ノ Z_0 ニテナス角トカ"大キサ及C"向キニ於テ一致スル 即チ

$$\lim_{\lambda \rightarrow 0} \text{Arg} \frac{w_2(\lambda) - w_2(0)}{\lambda} = \lim_{\lambda \rightarrow 0} \text{Arg} \frac{w_1(\lambda) - w_1(0)}{\lambda}$$

$$= \text{Arg} Z'_2(0) = \text{Arg} Z'_1(0) \quad (\text{正誤ヲ見ヨ})$$

ナラバ上ノ字像ハ Z_0 ニ於テ角ノ不変性ヲ有スルト云ヒ、

又 C_1 上ノ一莫 Q 、 C'_1 上ノ之ニ対應スル莫ヲ取トセバ

$\lim_{Q \rightarrow Z_0} \frac{\overline{Pw_0}}{QZ_0}$ ガ 曲線 C_1 ニ無関係ニ一定有限ナラバ糸線分

ノ不変性ヲ有スト云フ。

角ノ不変性ト糸線分ノ不変性ヲ併有スル(一價函数ニテ) 寫像ヲ等角寫像ト云フ。

斯ツスレバ一價函数 $f(z)$ が或領域の内、全テ、莫ニ於テ¹⁰等角写像ノ性質ヲモテハ" $f(z)$ ノ領域ニテ正則ニシテ且 $f'(z) \neq 0$ テ"アル。

借普通ハ $\frac{f(z)-f(z_0)}{z-z_0}$ ヲ考ヘ z カ C_1 上テ $z_0 = \text{近ツ"ケバ}$ コノ極限値カ $C = \text{無関係} = \text{一定} = \text{存在スルカラ}$ $f'(z)$ カ存スルト云フ論法ヲ"アルカ、 z カ $z_0 = \text{近ツ"ク}$ ノハ¹¹切糸線ノアル線ニ沿フテノ時ダケシカ¹²假定ニテナク、 $f'(z)$ ノ存在ニハ $|z-z_0|$ ナレ任意ノ近ツ"キ方ヲ"ナケレハ"ナラナイカラ上ノ專ダケテ"少シ言語カ足ラナイ様ニ思フ。

借、角ノ不変性カラ

$$\lim_{\Delta} \text{Arg} \frac{w_1(\Delta) - w_1(0)}{\Delta} = \lim_{\Delta} \text{Arg} \frac{z_1(\Delta) - z_1(0)}{\Delta}$$

カ¹³曲糸線 $C_1 = \text{閉セス}$ "一定ヲ"アルカラ、 $C_1 = \text{閉セス}$

$$\lim_{\Delta \rightarrow 0} \text{Arg} \frac{w_1(\Delta) - w_1(0)}{z_1(\Delta) - z_1(0)}$$

カ¹⁴存在ニテ一定ニテアリ、又¹⁵同シク糸線カ¹⁶不変性カラ、 $C_1 = \text{閉セ}$

$$\lim_{\Delta \rightarrow 0} \left| \frac{w_1(\Delta) - w_1(0)}{z_1(\Delta) - z_1(0)} \right|$$

カ¹⁷存在(有限)ニテ一定ヲ"アル。

ヨツテ $\lim_{\Delta \rightarrow 0} \frac{w_1(\Delta) - w_1(0)}{z_1(\Delta) - z_1(0)}$ カ C_1 ノ如キ¹⁸曲糸線¹⁹ニテ $z \rightarrow z_0$

ナルトキハ $C_1 = \text{閉セス}$ "一定。ヨツテ今 C_1 トシテ x 車由、 y 車由ニ天々平行ナ糸線カヲ考ヘ z ヲソレニ沿フテ $z_0 = \text{近ツ"ケ}$ ノ²⁰トニヨツテ(普通ノ如クシテ)

$$\frac{\partial u}{\partial x} = \frac{\partial v}{\partial y}, \quad \frac{\partial v}{\partial x} = -\frac{\partial u}{\partial y}, \quad w = u + iv$$

ヲ得ル。即チ u_x, u_y, v_x, v_y カ²¹領域内全テノ莫ヲ"存在

Cauchy-Riemann / 条件ヲ満足スルヲ"アル。依ツテ
 Looman-Menchoff / 定理 (之ハ初等的 u, v, u_x, u_y, v_x, v_y
 / 連続性又ハ u, v / 全微分可能任ヲ假定シテ証明セラレル
 テ"アルカ", 連続性ナシテ"成立スルコトハ Looman = ヨツテ
 証明カ"手ハラセタカ"後 Ridder 其他 / 人々ハ"証明
 = 欠莫ヲ指摘シタ。然シ Ridder 自身モ証明ヲ手ハ得ナカツタ
 後 = Menchoff カ" 1932 年 Looman / 欠莫ヲ補ヒ完全ナ
 証明ヲ手ハシ。S. Saks カ" 其"積分論"ナル書物 = 発表シタ
 依テ我々ハ"コト"上ノ定理ヲ Looman-Menchoff / 定理ト
 呼ハ"ク" = ヨツテ $f(z)$ / 領域 = 正則ヲ"アル。 $f(z_0) \neq 0$
 ナルコトハ, 既ニ $f(z)$ / 正則任カ"ツカッタ上ノ角ノ変性カラ
 明ヲ"アル。

併シ Looman-Menchoff / 定理ハ大ニタ面倒ナモ、テ"ハ"タイガ
 実変数函数論ノ知識ヲ多少使用セ"ハ"ナラス"初等的トハイハレ
 依テ上ノ結果ハ初等的ト函数論ノ本 = 書クワケ = ハイカタイ
 タ"ラ"ク。

u_x, u_y, v_x, v_y / 領域 = 連続ク"ト云フ假定ヲ入"ル"ナラ
 角ノ変性尤"テ"充分ヲ"アル。

然シト"ウ"モ等角ナラ正則ク"ト云フ定理 = $u_x, u_y \dots$ 等ノ連続
 性ヲ"イ"假定スルハ、幾何学的ノ性質ノ他 = 何カ餘計ナ假定ヲ
 スル様ヲ"免"持"ク"ガ"ル"イ。

尤モ連続性ヲ全部假定シ"タ"ク"トモ u_x, u_y / イツ"レ"カーツ
 v_x, v_y / イツ"レ"カーツ, 都合ニツ"ク"假定ス"ル"ハ"宜"シイ。或ハ更

領域内では "Cauchy-Riemann 関係式" が成立すれば、 z 平面の直角
 = 方向の微分係数が存在して一致すれば、そこで "正則" となることハ
 Jordan-Menchoff の定理で明かすから、領域、(場合ハ切線、アル
 曲線 = 沿って) 極限が一致すれば、十分となることハワカルカ、一果 z_0
 = 於て 存在する切線、アル曲線 = 沿へば $\lim_{\Delta z \rightarrow 0} \frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z} = k$
 となることヨリ $f'(z_0)$ の存在がワカルタロウカ。答ハ然りと云へル。

何者、もし或る集合で $\Delta z \rightarrow 0$ として $\lim_{\Delta z \rightarrow 0} \frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z}$ が存在
 するハ、又ハ、 k と異なれば、ソノウチカラ適當な点列 $\{z_i\}$ を選んで $\frac{f(z_0 + \Delta z_i) - f(z_0)}{\Delta z_i}$
 $\rightarrow k$ と異なることガ得"キル。($\Delta z_i = z_i - z_0, \Delta z_i \rightarrow 0$)

$\{z_i\}$ の部分列 $\{z_{n_i}\}$ を選んで、コレガ z_0 へ近づく、且つ z_{n_i} が切
 線 C 上の曲線 C 上 = 沿って行くと、 $\lim_{\Delta z \rightarrow 0} \frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z} = k$ となることガ出来れば、

$$\lim_{\substack{\Delta z \rightarrow 0 \\ z_0 + \Delta z \in C}} \frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z} = k, \quad \lim_{\Delta z_{n_i} \rightarrow 0} \frac{f(z_0 + \Delta z_{n_i}) - f(z_0)}{\Delta z_{n_i}} = l$$

ト云つて矛盾が出来る。ヨツテ「」が可能となることを証明すればヨイ。
 z_0 の近傍を z_0 を頂点とする 8 個の 45° の角 = 作れる。 $\{z_i\}$ の某が、
 コレら 1 個、トレカ一ツ、上 = 無限個アルハ、ソノ近傍を C 上トレハ"ヨイ。
 ソレ以外、時ハ少クとも一ツ $\{z_i\}$ の某が無限個、ソノ内部 = 鋭角
 がアル。コノ角を A_1 とし、ソノ内部、 $\{z_i\}$ の某を z_{n_1} とする。 z_{n_1} が A_1
 A_1 の = 中 = 平行四辺形を引キ、 A_1 の = 中トテ" 平行四辺形を引キ、
 A_1 の = 等分線 = 中、平行四辺形を二分する。スレト、コノウチ少クとも
 一ツハ $\{z_i\}$ の某が無限個ある。コノ A_1 の = 等分角を A_2 とシ、 A_2 の
 内部 = z_{n_2} を $|z_{n_2}| < \frac{|z_{n_1}|}{2}$ として、先、平行四辺形を引キ、
 = 作る。以下同様 = z_{n_3}, z_{n_4}, \dots を作り、折線 z_{n_1}, z_{n_2}, \dots = 近い曲線ヲ
 作る。
 z_0 = 切線ヲモツ單一曲線ヲ" 且つ $\{z_{n_i}\}$ が z_0 へ近づく、且つ z_{n_i} が切

此曲線を可作ルコトがデキル。(長サモアルヨウニテ"キル)

備.モト, 等角寫像, 問題 = 立戻ッテ見レバ" 角, 不變性ト
線分, 不變性トカラ任意, 切線, マル (長サアル) 曲線 = 治フテ

$$\lim_{s \rightarrow 0} \frac{w(s) - w(0)}{z(s) - z(0)}$$

カ'存在スルカラ 如何ナル具列'テ"モ $\Delta z \rightarrow 0$ トラハ"

$$\lim_{\Delta z \rightarrow 0} \frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z}$$

カ'存在スルコト. 既ヤ $f'(z_0)$ カ'存在スルコトガ云ヘル。

等角寫像, 性復ヲモツスベ"テ, 具テ" $f'(z)$ カ'存在スルカラ 領域内テ"
等角寫像, 性復ヲモテハ"ソコテ"ハ正則トナルコトガ"カ。 ($f'(z_0) \neq 0$ ナル
コトモ云ヘル)

コノ証明トラ初等的"ガ"嚴密 = ヤレバ"少シ長クハカ"ルガ 函数論/
最初, 方 = 書ケ"イ"タ"ロウカ。

最後 = 或一見 = 於テ $\frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z}$ 極限值カ'任意, 切線, マル
曲線 = 治フテ一定トラハ" $f'(z_0)$ 存在ハ"カ"ツ"タ"カ。 z_0 ヲ通ル直線 =
治フテ上, 極限值カ'常 = 存在シテ一致シテモ $f'(z_0)$ ハ存在スルトハ限
ラ"イ。 例ハ" $z_0 = x_0 + iy_0$ ヲ通ル拋物線 $y - y_0 = 2(x - x_0)^2$ ト
 $y - y_0 = \frac{1}{2}(x - x_0)^2$ トノ間テ", ($z \rightarrow z_0$ 1トキ = ハ 0 = ナルカ。) 任意, 1値ヲ
トリ。 又上"ツ"拋物線, 外テ"ハ 常 = 0 トナル 函数 ヲ 正則 函数
= カ"ヘ"テ"オ"イ"テ"モ 直線 = 治"ツ"テ $z_0 + \Delta z \rightarrow z_0$ ナルトキ $\frac{f(z_0 + \Delta z) - f(z_0)}{\Delta z}$
極限ハ"カ"ハ"ラ"イ。 Δz ガ 十分小サケレバ, 直線テ"近"ツ"ク"トキハ 拋物
線ヲ"ハ"レ"テ"シ"マ"フ"カ"。

正誤

8p. 9行 正規 ヲ 正則] = 改ム

9p. 14行, 14行全体ヲ

$$= \lim_{s \rightarrow 0} \text{Arg} \frac{z_2(s) - z_2(0)}{s} - \lim_{s \rightarrow 0} \frac{A_1}{s} \\ = \lim_{s \rightarrow 0} \text{Arg} \frac{z_1(s) - z_1(0)}{s} \quad \text{ト改ム。}$$